

取扱説明書 (保証書付)

WR-2400



このたびは、Bluetooth®受信機をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

Bluetooth®のワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標で、日本電音株式会社はこれらの商標を使用する許可を受けています。

目次

| | | | |
|------------------|-----|----------------------|--------|
| 安全上のご注意 | 1~3 | 取付方法 | 9 |
| 免責事項について | 3 | 外部リモートについて | 10, 11 |
| 設置・使用上のご注意 | 4 | ACアダプター (付属) の説明 | 12, 13 |
| 本機を長期間お使いの場合のお願い | 4 | 接続するBluetooth®機器について | 14 |
| 取り扱い上のお願ひ | 4 | 操作方法 | 15, 16 |
| 電波について | 5 | 音声が届かなくなった時は | 17 |
| 各部の名称と説明 | 6~8 | 定格 | 18 |
| □電池ふたの開けかた | 7 | 外觀寸法図 | 19 |
| □電池の入れかた | 8 | サポートのご案内 | 20 |
| □音声出力レベル切換スイッチ | 8 | 保証書 | 20 |

安全上のご注意

必ずお守りください

- ご使用の前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」と取扱方法に関する説明をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、必ず保存してください。

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な注意内容(上図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。



△記号は注意(危険・警告)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

| | | |
|---|---|---|
|  | 警告 | この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
|  |  | 異常が起きたときは、ただちに使用をやめる 煙が出ている、においや音がある、水や異物が入った、落として破損したなど、火災・感電の原因となります。ただちに電源を切り、販売店などにご連絡ください。 |
|  | 分解／改造はしない | 火災・感電の原因となります。修理や点検は、販売店などにご依頼ください。 |
|  | 異物を入れない／濡らさない | 水や金属が内部に入ると、火災・感電の原因となります。ただちに電源を切り、販売店などにご連絡ください。 |
|  | 配線は正しくおこなう | ショートや、誤配線により火災の原因となります。 |
|  | この機器の上にもうすぐ等の炎が発生しているものを置かない | 火災の原因となります。 |
|  | 雷が鳴り出したら、接続コードやプラグには触れない | 感電の原因となることがあります。 |
|  | 航空機内では電源を切る | 運航の安全に支障をきたす恐れがあります。 |
|  | 医用電気機器に近づけない (手術室、集中治療室、CCU*等には持ち込まない) | 本機からの電波が医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。*CCUとは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。 |
|  | 自動ドア、火災報知器等の自動制御機器の近くで使用しない | 本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。 |

| | | |
|---|--|--|
|  | 注意 | この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |
|  | 不安定な場所に置かない | 落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。 |
|  | 重量に耐える場所に設置をする | 落下や転倒などでけがや破損の原因となります。 |
|  | 湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所に置かない | 火災・感電の原因となることがあります。 |
|  | 異常に温度が高くなる場所に放置しない | 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所、湿気、埃及び振動の多い場所で使用、または放置しないでください。火災や感電の原因となることがあります。 |

| | |
|---|--|
|  注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 | |
|  | この機器に乗ったり足場代わりにしない 特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。 |
|  | 通行などの障害となる場所には設置しない 引っかかったり、当たったりなどしてけがの原因となることがあります。 |
|  | 配線は、本機・接続機器の電源を切っておこなう 故障の原因となることがあります。 |
|  | 電源を入れる前には本機・接続機器の音量を最小にする 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。 |
|  | 移動するときは、コード類を傷つけない 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。 |
|  | 廃棄は専門業者に依頼する 燃やすと化学物質などで目を痛めたり、火災ややけどの原因となります。 |
|  | 樹脂加工部に対してベンジンやシンナーなどの溶剤を使用して清掃しない、また、タバコなどの火を近づけない 部品変形により故障して、火災などの原因となることがあります。 |
|  | 機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。 |
|  | 1年に1回程度は内部の掃除を工事店などにご相談ください。内部にほこりがたまった状態で、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨時の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については工事店などにご相談ください。 |

免責事項について

当社は下記の事項に関して一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- ① お客様の故意、過失、誤用、その他異常な条件下での使用による損害または本製品の破損など
- ② 本製品に直接または間接に関連して生じた、偶発的、特殊的、または結果的損害・被害
- ③ 本製品のお客さまご自身による修理、分解または改造が行なわれた場合、それに起因するかどうかを問わず、発生した一切の故障または不具合により生じた損害
- ④ 本製品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、使用ができないことなどによる不便・損害・被害
- ⑤ 第三者の機器と組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害

設置・使用上のご注意

- 使用中に強い衝撃や振動を加えないでください。音切れや故障の原因となることがあります。
 - 本機を雑音発生の原因になる機器※の近くには設置しないでください。
- ※高周波機器(乾燥機、医療機器など)、電気溶接機、ブラッシングモーター、自動車の通る道、携帯電話機、デジタル機器(コンピューター、電子楽器など)、空気清浄器など。

本機を長期間お使いの場合のお願い

本機を安全に使用していただくために、販売店または工事業者による定期的な点検をおすすめします。

外観上は異常がなくても、使用条件によっては部品が著しく劣化している可能性があります。故障したり、事故の原因となることがあります。下記①～③の様な状態ではないか日常的に確認してください。もしその様な状態を発見されましたら直ちにACアダプターをコンセントから抜く、または電池を取り出して電源を切り、販売店または工事業者に点検や撤去をご依頼ください。

特に10年を超えて使用されている場合は、定期点検の回数を増やしていただくとともに買い換えの検討をお願いします。

- ①煙が出たり、こげ臭いにおいや異常な音がしている。
- ②本機に触れるとビリビリと電気を感じる。
- ③電源を入れても音が出てこない、その他の異常・故障がある。

取り扱い上のお願

技術基準適合証明ラベルについて

本機は、電波法で規定される技術基準適合証明書です。機器一台一台にその証明番号(証明ラベル)が貼ってあります。みだりに剥がしたり損傷の無いようご使用ください。

違法改造しないで

本機を分解したり、内部の部品に触ったりしないでください。改造することは法律で禁じられています。

放置しないで

アンプの上や夏の閉め切った車内のような温度の高いところや、湿度の高いところには放置しないでください。

使用電池について

- ・充電式電池(ニカド電池、ニッケル水素電池等)のご使用は、機器の正常な動作を保証出来ませんので、ご使用はお控え下さい。
- ・ご使用頂けます電池は、マンガン乾電池(黒・赤)またはアルカリ乾電池です。

取り扱いはていねいに

床に落としたり、物に当たったりしないでください。

乾電池は正しく使う

使いかたを誤ると、電池の液漏れで機器が腐食したり、電池が破裂する恐れがあります。充電、ショート、分解、加熱、火の中への投入はやめてください。

接続時、または使用後は

電源スイッチを切ってください。また、長時間(2週間以上)使用しないときは、乾電池を取り出してください。

電波について

この機器の使用周波数では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されていないことを確認してください。

- 1.この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2.万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、弊社お客様ご相談センターにご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えばパーティションの設置など）についてご相談してください。
- 3.その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社お客様ご相談センターへお問い合わせください。

2. 4FH1



2.4 : 2.4GHz帯を使用する無線設備を表す。

FH : 変調方式がFH-SS方式であることを示す。

1 : 想定される与干渉距離が10m以下であることを示す。



: 2,400MHz~2,483.5MHzの全帯域を使用し、

かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味する。

各部の名称と説明

電源表示灯(青)

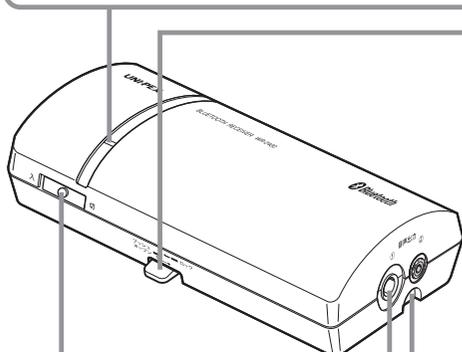
電源スイッチを入れますとゆっくり点滅しペアリング待ちの状態を示します。

ペアリング完了すると、電源表示灯が点灯に変わります。

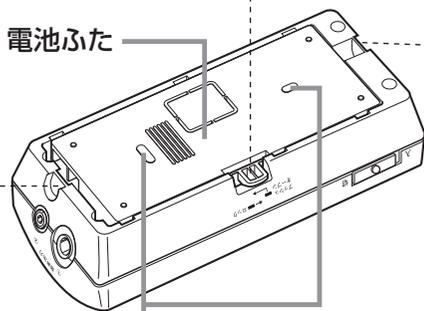
ペアリングの仕方についてはP15「操作方法」をご覧ください。

注)電池の残量が「少ない」場合は新品の乾電池に交換してください。

| 電池の残量 | 電源表示灯(青)状態表示 | |
|-------|--------------|--------------|
| | ペアリング待ち | ペアリング中 |
| 十分にある | ゆっくり点滅 | 点灯 |
| 少ない | 素早く3回点滅を繰り返す | 素早く1回点滅を繰り返す |



電池ふた



取付穴

本機を壁面などに取り付けるためのねじ穴です。P9「取付方法」の説明をご覧ください。

電源スイッチ

「入」側にスライドしますと電源が入り、電源表示灯がゆっくり点滅し、ペアリング待ち状態になります。使用しないときは「切」側にして電源を切ってください。

コード引出し部(両側面2ヶ所)

外部リモート端子やACアダプターを接続する場合にコードを通してください。P11「外部リモートの接続のしかた」、P13「ACアダプターの接続のしかた」の説明をご覧ください。

音声出力① (-20dBV / -60dBV 切換式 600Ω 平衡: 3極大型単頭ジャック)

音声出力② (-20dBV / -60dBV 切換式 600Ω 不平衡: RCAピンジャック)

接続する機器に合わせて接続コードを使用し、アンプのライン入力ジャック、またはマイク入力ジャックに接続してください。接続する機器に合わせ音声出力レベル切換スイッチを設定してください。P8「音声出力レベル切換スイッチ」の説明をご覧ください。

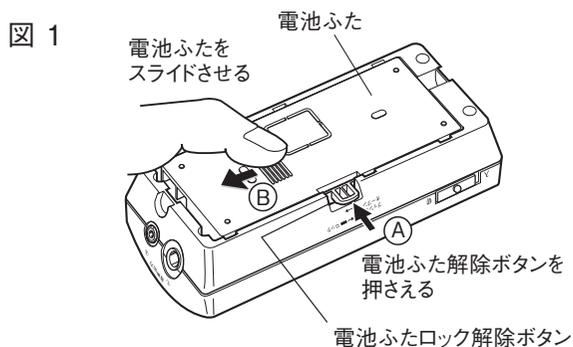
注) 音声出力①と②は同時には使用できません。両方に接続した場合、①が優先されます。

電池ふたロック解除ボタン

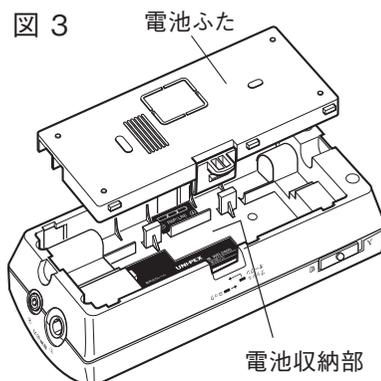
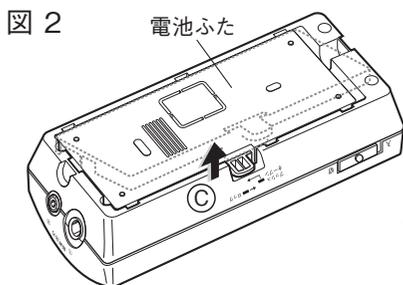
電池の出し入れや音声出力レベルの切り換えなどをおこなうときは、このボタンを押して次の説明に従って底面の電池ふたを開けてください。

■電池ふたの開けかた

- ① 電池ふた解除ボタンを矢印Aの方向に押さえながら、電池ふたを矢印Bの方向にスライドしてください。(図1参照)



- ② 電池ふた解除ボタンを矢印Cの方向に上げ、電池ふたを図2の点線部分の方向にあけてください。(図2、3参照)



注) 電池ふたを閉めるときは、電池ふたと本体間のコードを挟み込まないように注意してください。

各部の名称と説明(電池収納部)

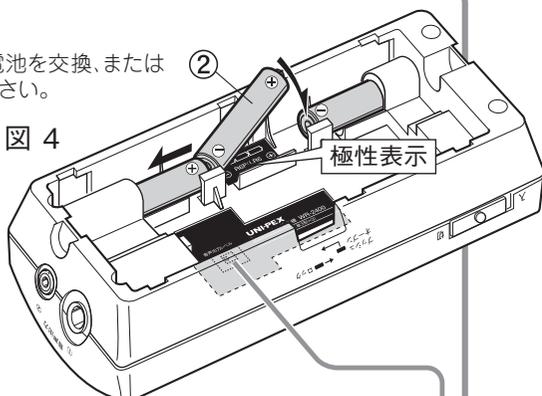
電池収納部(極性表示)

本機に使用する乾電池は単3形3本です。乾電池を交換、または入れるときは次の説明に従っておこなってください。

■電池の入れかた(電池で使用時のみ)

- ① 2本の乾電池を極性表示に合わせ、電池収納部両端に入れる
- ② 残りの1本の乾電池を⊖極部分から入れ、先に入れた乾電池を押し込みながら⊕極部分を入れる(図4参照)

図 4



●使用電池についてのご注意

- ・充電式電池(ニカド電池、ニッケル水素電池等)のご使用は、機器の正常な動作を保証出来ませんので、ご使用はお控え下さい。
- ・ご使用頂けます電池は、マンガン乾電池(黒・赤)またはアルカリ乾電池です。

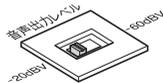
⚠警告

- ◎電池は、極性表示に従い正しく入れる
- ・誤挿入による液漏れや破裂だけがをする場合があります。
- ・特にアルカリ乾電池をご使用の場合は液漏れにより、化学やけどの原因となることがあります。
- ・ACアダプターと併用しないでください。

音声出力レベル切換スイッチ

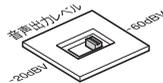
本機の音声出力ジャックに接続する機器の入力感度に合せて出力レベルを切り換えてください。切り換えは付属のドライバーを使っておこなってください。

●-20dBV(出荷時)に設定時



ライン入力端子と接続する場合など

●-60dBVに設定時



マイク入力端子と接続する場合など

注)接続する機器の入力感度レベルを必ず確認してください。

取付方法

- 本機の重量に充分に耐えられる場所または、補強を施した場所へ設置してください。
尚、取付場所の強度不十分、取付方法の不備による事故に対する一切の責任は負いかねます。

■取り付けかた

- ①取付穴にねじを入れ、電池ふたを取付面に固定します。(図5、6参照)
- ②固定した電池ふたの本体取付ガイド部を本体側に合わせてはめ込み、
下向きにスライドさせロック状態にしてください。(図5参照)

図5

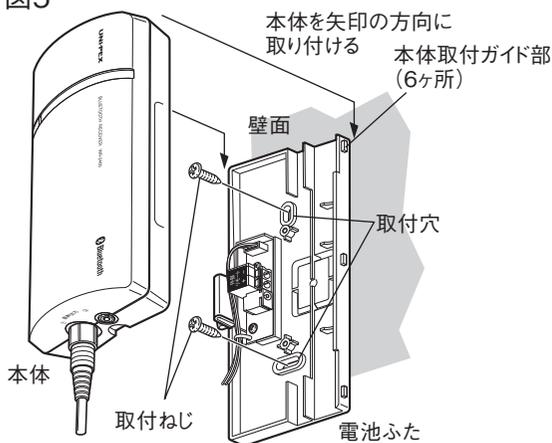
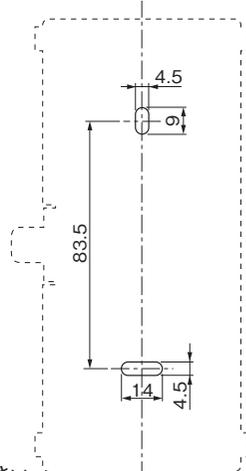


図6

取付穴寸法図 (単位:mm)



●ご注意

- ・必ず本体を上向きに持ち上げて、ロック状態を確認してください。

※取付ねじは付属していません。

取付面の材質に適したねじを使用してください。



重量に耐える場所に取り付ける

取付場所の強度が不十分なとき、落下したりしてけがや破損の原因となることがあります。



取付ねじはしっかり締め付ける

落下などの事故の原因となります。また、ねじの掛かり代を充分に確保してください。

■取り外しかた

図7

- ・取外しは電池ふたロック解除ボタンを押しながら本体を上向きにスライドさせ、手前に引いてください。(図7参照)

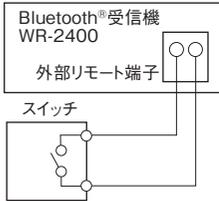


外部リモートについて

外部リモート端子 外部より本機の電源を「入/切」する場合は、この端子を利用してください。

図 8

・接続例

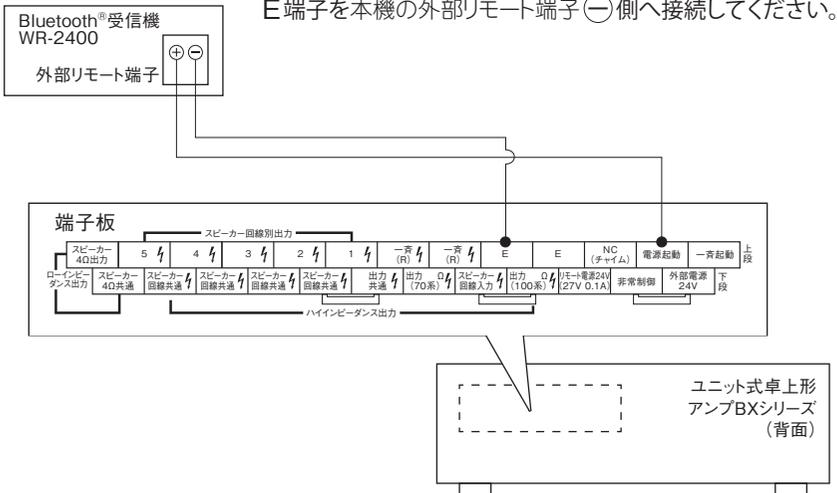


- 外部リモート端子を利用することにより、電源スイッチが「切」の場合でも外部制御で電源を「入」にすることが可能です。

ユニット式卓上形アンプBXシリーズとの組み合わせで外部リモート機能を使用される場合は極性にご注意ください。

図 9

・接続例

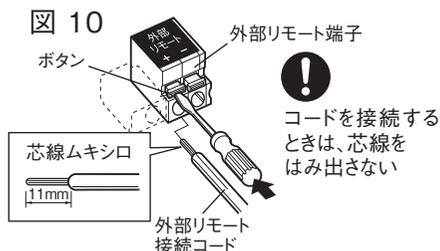


注)

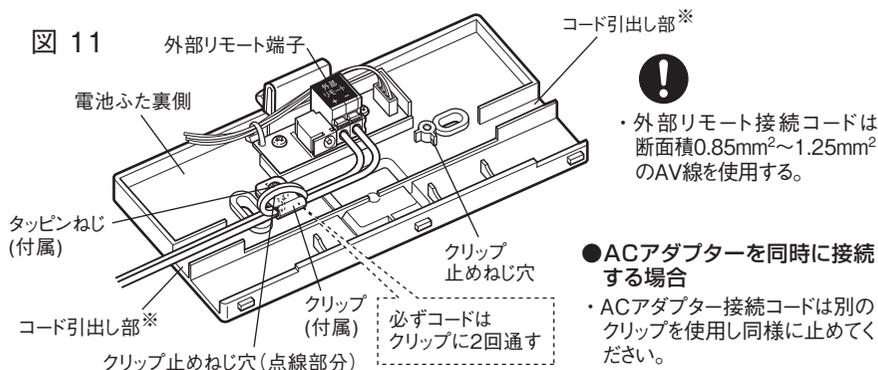
- ・外部リモートを使用し電源の「入/切」をおこなう場合は、必ず電源スイッチを「切」にしてください。
- ・外部リモートを使用し電源を「入」にすると電源表示灯がゆっくりと点滅します。また、「切」にすると電源表示灯が消灯します。
- ・外部リモートを使用し電源の「入/切」をおこなった場合でも、その都度、ペアリング(P.15)をする必要があります。

■外部リモートの接続のしかた

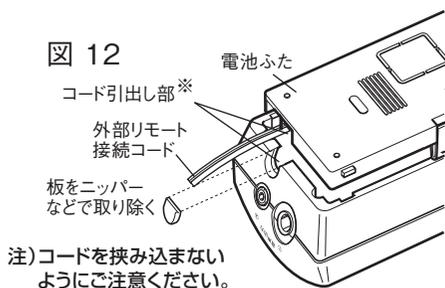
- ① 端子のボタンを付属のドライバーなどで押しながら、外部リモート接続コードを接続する（図10参照）



- ② 接続したコードを付属のクリップで止める（図11参照）



- ③ 本体側コード引出し部の板を取り除き、外部リモート接続コードを通して電池ふたを閉める（図12参照）



注)

- ・コード引出し部は反対側にもあります。必ず、コードはクリップ取付部に近いコード引出し部を通して外部に出してください。
- ・コードは電池収納部内や本体近傍(特に前面)で束ねないでください。雑音発生の原因になります。

ACアダプター(付属)の説明 (ACアダプター使用時のみ)

ACアダプター (付属品)

付属のACアダプターを接続して使用する場合は、P13「ACアダプターの接続のしかた」の説明に従って接続してください。

プラグ (本体側)
本機の電池ふた裏側にあるDCジャックに接続してください。

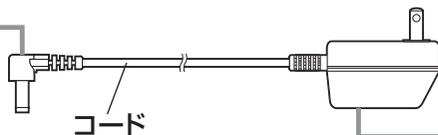


図 13

プラグ (AC電源側)
ACコンセントに接続してください。



警告

ACアダプター使用時 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



プラグをコンセントから抜き

異常が起きたときは、ただちに使用をやめる

煙が出ている、においや音ができる、水や異物が入った、落として破損したなど、火災・感電の原因となります。ただちにACアダプターをコンセントから抜き、乾電池を取り出して、販売店などにご連絡ください。



分解／改造はしない

火災・感電の原因となります。修理や点検は、販売店などにご依頼ください。



コードやプラグを傷つけない

コードの上に重いものをのせたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりすると、火災・感電の原因となります。コードやプラグが傷んだら販売店などにご相談ください。



水滴のかかる場所に置かない

中に水が入った場合、火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



表示された電源電圧以外の電圧で使用しない

火災・感電の原因となることがあります。



指定以外のACアダプターを使わない

火災やけがの原因となることがあります。



雷が鳴り出したら、接続コードやプラグには触れない

感電の原因となることがあります。



異常に温度が高くなる場所で使用しない、放置しない

窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所、湿気、埃及び振動の多い場所で使用、または放置しないでください。火災や感電の原因となることがあります。



1年に1回程度はACアダプターに異常がないか、故障していないか、ACコンセントとプラグの間にほごりのたまっていないかなどを点検してください。火災や故障の原因となることがあります。不明な点は工事店などにご相談ください。

注意 ACアダプター 使用時 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。

濡れた手で、ACアダプターをさわらない
感電の原因となることがあります。

長期間使用しないときは、ACアダプターをコンセントから抜く
火災の原因となることがあります。

お手入れの際はACアダプターをコンセントから抜く
感電の原因となることがあります。抜くときは必ずACアダプターを持って抜いてください。

コード類は正しく配置する
コード類は引っかけたりして引っ張ると製品の落下などにより、けがの原因となることがあります。接続・配線には充分ご注意ください。

通電中のACアダプターに長時間ふれない
温度が高くなることもあり、長時間皮膚がふれたままになっていると低温やけどの原因となることがあります。

ACアダプターを布団などでおおった状態で使用しない
熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

■ACアダプターの接続のしかた

注) ACアダプターを接続する前に必ず乾電池を取り出して接続してください。

- ① ACアダプターのプラグをDCジャックに接続する(図14参照)
- ② ACアダプターのコードを付属のクリップで止める(図14参照)
- ③ 本体側コード引出し部の板を取り除き、コードを通して電池ふたを閉める(図15参照)

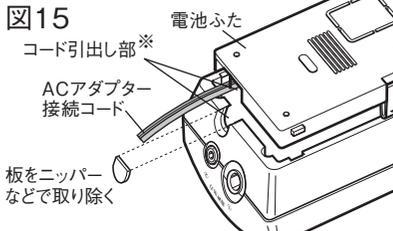
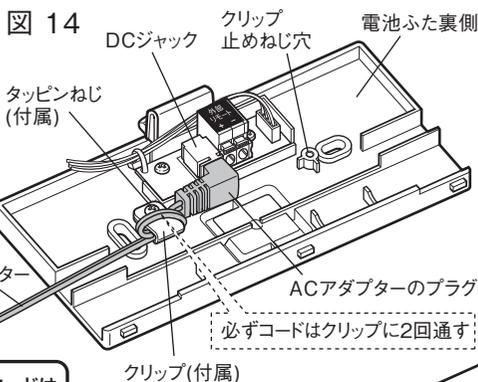
注)

- ・コード引出し部は反対側にもあります。必ず、コードはクリップ取付部に近いコード引出し部を通して外部に出してください。
- ・コードは電池収納部内や本体近傍(特に前面)で束ねないでください。雑音発生の原因になります。

- ④ ACアダプター本体をACコンセントに接続する

●外部リモートを同時に接続する場合

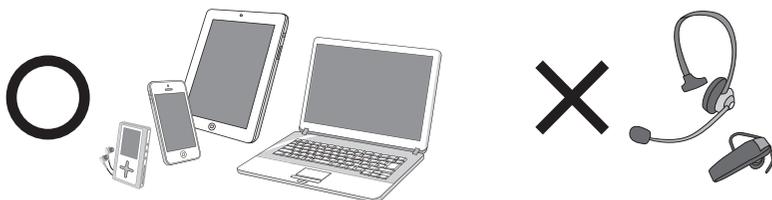
- ・外部リモートの接続コードは別のクリップを使用し同様に止めてください。



注) コードを挟み込まないようにご注意ください。

接続するBluetooth®機器について

接続できる機器には、Bluetooth®機能搭載のスマートフォン、音楽再生プレーヤー等の携帯機器、タブレットを含めたPCがあります。ヘッドセットマイク、ハンズフリーマイク等のご使用になれません。



※本機は、HSP(ヘッドセットプロファイル)、HFP(ハンズフリープロファイル)に対応していない為、ヘッドセットマイクや、ハンズフリーマイクとの接続ができません。

※Bluetooth®機器に携帯電話やタブレットをお使いの場合は、通話機能をOFF(電波OFFモード等)にしてください。(着信してしまいますと、音声出力が消音されます。)

※WR-2400と接続するには、お使いのBluetooth®機器が対応プロファイル(A2DP)に対応している必要があります。お使いのBluetooth®機器が対応しているBluetooth®プロファイルについては機器の取扱説明書などをご確認ください。

※お使いのBluetooth®機器を接続機器の近傍に置くとスピーカーからノイズが発生する場合があります。その場合は、お使いのBluetooth®機器を接続機器から少しだけ離してお使いください。(Bluetooth®受信機による影響ではありませんが、Bluetooth®機器には接続機器に影響を及ぼす周波数の電波を出しているものがあります。)

操作方法

1.電源を入れる

本機の電源を入れてください。

Bluetooth®受信機の電源表示灯がゆっくりと点滅していることを確認してください。
(電池消費時は素早く3回点滅を繰り返します。)

2.ペアリング(機器接続)を行う

Bluetooth®受信機をお使いいただくには、本機とお客様がご持ちのBluetooth®機器を無線で接続しなければなりません。この接続のことをペアリングと呼びます。

①お使いのBluetooth®機器のBluetooth®機能をONにしてください

Bluetooth®機能をONにする方法については、お使いのBluetooth®機器の取扱説明書をご覧ください。機器のメーカーサポートにお問い合わせください。

②お使いのBluetooth®機器で本機を検索してください

この時、お使いのBluetooth®機器と本機は1m以内に近づけてください。
画面のある機器は画面に「**WR-2400**」と表示されます。

③検索結果のリストから「WR-2400」を選択し、パスコードを入力してください

パスコード **0000** (ゼロ4つ)

パスコードとは、本機とお客様がご持ちのBluetooth®機器をペアリングする際のパスワードです。本機では、4桁の数字「0000(ゼロ4つ)」をパスコードとしています。
パスコードを入力できない機器でも、パスコードを送信することができる場合があります。お使いのBluetooth®機器の取扱説明書をご覧ください。機器のメーカーサポートにお問い合わせください。

※送信できるパスコードが「0000(ゼロ4つ)」でない場合は、お使いになれません。

※携帯電話の機種によっては、パスコード入力前に、携帯電話の暗証番号入力を求められる場合があります。

④ペアリング完了を確認してください

Bluetooth®受信機の電源表示灯が点灯(電池消費時は素早く1回点滅を繰り返します。)に変わったらペアリング完了です。

操作方法

3.音源を再生する

お使いのBluetooth[®]機器で音源を再生してください。音源の再生方法については、お使いのBluetooth[®]機器の取扱説明書をご覧ください。機器のメーカーサポートにお問い合わせください。

※より良い音質でお使いいただくために、お使いのBluetooth[®]機器の音量ボリュームは半分より大きくしてください。

4.音源を停止する

お使いのBluetooth[®]機器で音源を停止してください。音源の停止方法については、お使いのBluetooth[®]機器の取扱説明書をご覧ください。機器のメーカーサポートにお問い合わせください。

5.ペアリングを解除する

お使いのBluetooth[®]機器のBluetooth[®]機能をOFFにしてください。(本機はペアリング待ち状態となり、電源表示灯がゆっくと点滅します。)Bluetooth[®]機能をOFFにする方法については、お使いのBluetooth[®]機器の取扱説明書をご覧ください。機器のメーカーサポートにお問い合わせください。

※本機の電源がOFFになるとペアリングは解除されます。再度お使いの場合は、「操作方法1」から操作してください。

※意図的に解除しなくても、通信距離から離れたり、電波が途切れたりするとペアリング待ち状態になります。

※WR-2400と同時に接続できるBluetooth[®]機器は1台です。接続するBluetooth[®]機器を切り換える場合は、現在接続しているBluetooth[®]機器のペアリングを解除した後、切り換えたいBluetooth[®]機器をペアリングさせてください。

音声が途切れた時は

Bluetooth[®]機器は無線機器である為、お使いのBluetooth[®]機器と本機が離れた場合、もしくは何かの障害物が間を隔てた場合に電波が途切れ、音声が出力されなくなることがあります。その場合は、お使いのBluetooth[®]機器を近づけていただくか、間を隔てている物を移動させてください。

※お使いのBluetooth[®]機器を近づけていただく、もしくは間を隔てている物を移動させていただくと、音声出力は復帰しますが、Bluetooth[®]機器によっては、電波が途切れた時点で音声出力を一時停止するものがあります。電源表示灯が点灯になっているのに音声出力しない場合は、お使いのBluetooth[®]機器をご確認ください。

注意...

- Bluetooth[®]は2.4GHzという周波数帯の無線を使用しています。
- 電子レンジや、無線LANなどが同じ周波数帯を使用している為、混信等が発生し、電波が途切れたり、ノイズが発生したりすることがあります。
- 電子レンジや、無線LANなどの機器から10m以上離してお使いください。

定格

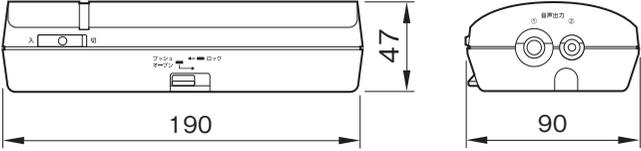
| | |
|----------|--|
| 使用電源 | 単3形乾電池×3、専用ACアダプター |
| 消費電流 | 45mA以下（単3形乾電池使用時）、 35mA以下（専用ACアダプター使用時） |
| 電池持続時間 | 約50時間[アルカリ乾電池 LR6 使用時]（常温連続使用にて） |
| 通信方式 | Bluetooth®標準規格 ver.4.1 |
| 出力 | Bluetooth®標準規格 Power Class 2 |
| 通信距離 | 最大10m ※通信距離は使用環境によって異なります。 |
| 対応プロファイル | A2DP |
| 対応コーデック | SBC |
| 定格出力 | 音声出力①：-20dBV / -60dBV 切換式 600Ω 平衡 3極大型単頭ジャック 音声出力②：-20dBV / -60dBV 切換式 600Ω 不平衡 RCAピンジャック |
| 再生周波数特性 | 20Hz~20kHz |
| 使用温度範囲 | 0°C~+40°C |
| 寸法 | 幅190mm 高さ47mm 奥行90mm |
| 質量 | 約280g（乾電池を除く） |
| 外装 | ABS樹脂（マンセル N1 近似色 ブラック） |
| 付属品 | 取扱説明書（保証書付）1、音声出力レベル切換用ドライバー 1、 単3形乾電池（テスト用※）3、ナイロンクリップ 2、 2極大型単頭プラグ付コード（1m）1、タッピンねじ（φ3×10）2、 ACアダプター 1 |

※付属の乾電池はテスト用ですので、早めに新品の乾電池と交換することをお勧めします。

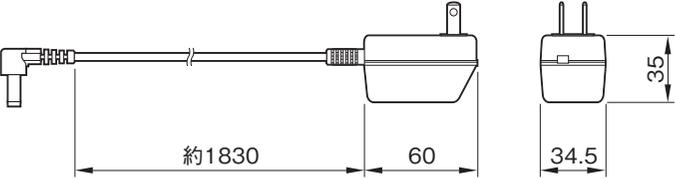
■ACアダプター

| | |
|----|------------------|
| 入力 | AC100V 50/60Hz |
| 出力 | DC 7.5V 0.2A MAX |

外觀寸法図 (単位:mm)



■ACアダプター



サポートのご案内

■ 修理・お取扱い・お手入れについてのご相談・ご依頼は、お買い上げの販売店にお申し付けください。

販売店に修理を依頼する場合は、下記の項目をお確かめください。

①品名 ②品番 ③お買い上げ日 ④故障の状況（できるだけ具体的にお願いします）

■ 販売店がご不明な場合は、最寄りの弊社営業所にお問い合わせください。

営業所情報はホームページもしくはQRコードにアクセスしてください。
<http://www.unipex.co.jp>



■ その他ご不明な点は、お客様ご相談センターへご相談ください。

UNI-PEX お客様ご相談センター

0120-56-5245

（通話料無料）

受付時間／9:00～17:00（土・日・祝日除く）

PHS・携帯電話からのご利用は、
072-855-3334（通話料がかかります）

【お客様の個人情報の取り扱いについて】

お客様ご相談センターにおけるお客様の個人情報は、ご相談対応、修理およびその確認に使用いたします。個人情報は適切に管理し、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供または開示いたしません。

Bluetooth® 受信機 WR-2400 保証書

| | |
|------|---|
| 製造番号 | |
| 保証期間 | お買い上げ日 年 月 日 電子回路部1ヶ年、ケース(外装部)6ヶ月 |
| お客様 | お名前 見本 様 ご住所 〒 電話() - |
| 販売店 | 店名・住所 印 電話() - |

保証規定

この保証書は日本国内においてのみ有効です。この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
(This warranty is valid only in Japan)

無料修理保証の範囲

- ①保証期間内において、取扱説明書などに従った正常な使用状態において故障した場合に無料で修理いたします。
- ②修理の際は必ず保証書の提示があること。
- ③当保証書の所定項目に必要事項が記入され、故意に字句を訂正していないこと。

無料修理保証の免責範囲

- (次のような場合でも有料修理となります。)
- ①使用上の誤り及びお取扱いの乱用などによる故障、磨耗。
 - ②不当な修理改造による故障、損傷。
 - ③正常なご使用でも、消耗部品の自然消耗、磨耗、劣化によるもの。
 - ④お買い上げ後の落下、傷など、お取り扱い上に起因するもの。
 - ⑤火災、水害、落雷、地震、その他の天災によるもの。また塩害、有毒ガス、異常電圧などが原因の損傷。
 - ⑥故障の原因が本製品以外の機器の影響によるもの。
 - ⑦常識的に正常な動作状態であるにもかかわらず、修理または部品交換などの要求をされる場合。

本書は本書記載内容で無料修理を行なうことを保証するものです。お買い上げの日から上記期間内に故障が発生した場合は本書を提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

製造元 **日本電音株式会社**
発売元 **ユニペックス株式会社**

〒573-1132 大阪府枚方市招提田近3-6 TEL.(072)855-3334(代)